

令和2年度 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

1 勤務医(医師)の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

1) 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

ア 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
初診時の予診の実施	実施済み (令和2年度も継続中)	・各科の外来看護師、クランクにて対応
静脈採血等の実施	実施済み (令和2年度も継続中)	・原則、検体検査の静脈採血は、検査部で行っている。
入院の説明の実施	H31.1月から実施	・外来において入院が決定した場合、入退院支援検査説明センターで入院の説明を実施している。
検査手順の説明の実施	H31.1月から実施	・入退院支援検査説明センターにおいて説明している。
薬の説明や服薬の指導	H31.1月から実施	・外来、入院前の患者の薬の中止は、入退院支援検査説明センターで説明している。
医師事務作業補助者の役割	実施済み (令和2年度も継続中)	1.【各業務関係】 ①注射中止オーダー(事後)②手術画像pacs取込業務③胃瘻造設前検査代行入力④eヒタカード ⑤透析患者定期検査入力代行⑥診療情報提供書保存漏れ代行⑦ヘースメーカー遠隔モニタリング 代行⑧外来補助入力⑨各科退院証明書作成⑩外部(保険会社等)への対応⑪リサーチ日程(文 書照会)等調整 2.【診断書関係】 ①保険会社提出用(当院様式:オーダーリング上で作成)②保険会社提出用(当院様式:手書き作 成)③傷病手当金(手書き作成)④自賠責(オーダーリング上で作成)⑤労災(手書き作成)⑥職場 提出用(オーダーリング上で作成)⑦警察提出用(オーダーリング上で作成)⑧その他(特定疾患、年金 診断書等の手書き作成)⑨介護保険主治医意見書(オーダーリング上で作成)⑩生活保護要否意 見書(手書き作成)⑪訪問看護・リハビリ指示書 3.【外来診察入力代行】 (月)回復期リハ病棟回診:西村、外科外来:尾崎(火)回復期リハ病棟回診:西村、皮膚科外 来:非常勤(水)回復期リハ病棟回診:西村、婦人科外来:西田、外科外来:白土(木)ヘースメ ーカー外来:心臓血管内科医師、外科外来:林田(金)外科外来:横山
	令和2年度計画	医師事務作業補助者の増員(令和元年度10月1名、令和2年度1名増員) 医師事務作業補助体制加算1 40対1 → 30対1へ引上げ

イ 医師の勤務体制等にかかる取組

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	実施済み (令和2年度も継続中)	・従来より実施している。当直勤務については、内科系、外科系の担当の医師が毎月、本人の希望や都合も含め割り振りする。
当直業務の負担軽減	実施済み (令和2年度も継続中)	・医師会との連携を進め、時間外の一次救急については、医師会の当番医制度を利用し、紹介外来制に応じた適正な患者数とし、医師の増員と当直翌日の休日取得を進める。
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	実施済み (令和2年度も継続中)	・外科医師は、定例手術の前日は、当直とせず、翌日は、外来終了後、帰宅とする。
当直翌日の業務内容に対する配慮	実施済み (令和2年度も継続中)	・原則、当直明けは、帰宅することとしており、業務を考慮し、午前中もしくは半日勤務後に帰宅とする。
育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用	実施済み (令和2年度も継続中)	・H29年11月、就業規則の改正を行ない通達にて周知し、利用者の拡大を図る。
救急専門医	令和2年度計画	・救急搬入された患者の対応は、これまで各科の医師が対応していたが、救急専門医を採用することで、救急対応時の医師の負担の緩和を図る

2 令和2年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

項目	目標達成年次	令和2年度の実施内容	
看護職員と多職種との業務分担	薬剤師	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者の持参薬確認の実施 中止薬の処理 入院患者の服薬指導 入院患者のがん化学療法薬剤使用患者の服薬指導(外来患者は依頼により指導) 化学療法調整室での抗がん剤ミキシング 入院患者の薬の配達 退院時の服薬指導
	リハビリ職種	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> ベッドサイドリハの実施による重症患者の移送業務の軽減 重症患者のリハビリ室への移送業務の軽減
	臨床検査技師	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 外来における採血業務を行う 入院患者の採血は、前日に採血管を準備し、当日、早朝に採血された採血管を回収 輸血は、オーダー後に病棟へ持参 生理検査実施の際の患者の移送業務の軽減
	臨床工学技士	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプの点検業務 モニターの日常点検及び定期点検
	栄養部	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> おはし、スプーンを毎食時に準備、食後の洗浄まで行う
	画像診断部	令和2年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 検査後患者の搬送補助
看護補助者の配置	看護助手、介護福祉士の採用	令和2年度計画	看護助手の充足とともに新たに、介護福祉士の採用に向け、規程の整備を行い、採用を進める
入退院支援検査説明センター		H31年1月稼働 (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 外科の手術患者を対象とし、その後、歯科口腔外科、整形外科、心臓血管内科、放射線科、婦人科へと拡大中 入院時に病棟看護師が行っていた業務の一部、データベース聴取、入院初期計画立案、同意書等確認、内服薬の確認及び中止の説明、入院案内等を担う。また、必要時には、薬剤部、栄養部、MSW、手術部看護師等の協力あり。
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	令和元年10月から実施	緩和ケア認定看護師の勤務時間の変更(医師のIC及び患者家族の支援のため)
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 当院職員の就業と育児の両立を支援するためH26年5月から開所。また、病児保育や家庭の事情などによる一時預かりも可能とする。
	夜間保育所	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 毎週水曜日とする。
	夜勤の制限について	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 安全配慮を必要とした場合、特段の事情等により、申出があった場合。
	半日・時間単位休暇制度	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 既に時間単位での取得も含め実施してきたが、H31.1月に就業規則に盛り込み通達にて周知済みである。
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	実施済み (令和2年度も継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 術後患者及び重度看護が必要な患者が多いため、急性期混合病棟のうち1病棟を3名→4名体制へ増員
外来業務の軽減	救急外来部門の設置	令和2年4月から実施	<ul style="list-style-type: none"> 救急外来を通常の外来スタッフと区別、新たに師長を配置し、救急対応への負担軽減を図る。